

いんくる

年4回発行

2020.9

No.42

障害者就業支援
事業

障害者の『働きたい』と企業の『働いてもらいたい』を応援する



©Artbility 田辺 綾子「コスモス」(身体障害)

就業・定着までのサポート受けよう！

【内容】

- 1 就活セミナー
- 2 障害者職場体験実習
- 3 東京ジョブコーチ職場定着支援事業

公益財団法人
東京しごと財団
Tokyo Foundation for Employment Services



ステップ1 ▶ 就職活動（知る・見る）

●就活セミナーのご案内

4つのポイント

人間関係を円滑にし、
働きやすい環境を整える
ヒントを学ぼう

1

働く準備 働き続ける準備をしよう！

グループワークや演習中心のカリキュラム

就職活動に不慣れな方
社会経験が短い方にも
わかりやすく

2

やってみよう！体験してみよう！

失敗も経験のうち

障害特性に合わせ
丁寧に進めます

3

練習して覚えよう！

セミナー受講後の就職活動には支援者のサポートが不可欠です

4

**支援者の方も一緒に学んで、
今後の就活を支援しよう！**

二人三脚で一緒に
就職活動を！

●カリキュラム●

知的障害者 対象

1日目 社会人としてのマナーを学びましょう

2日目 応募書類の書き方を学びましょう

3日目 面接のための準備をしましょう

4日目 面接を体験しマナーや伝え方を
学びましょう

精神障害者・発達障害者 対象

1日目 働くとは？

- ・働くために必要な生活習慣
- ・コミュニケーション（話す・聴く）

2日目 コミュニケーション（職場のコミュニケーション）

- ・応募書類の書き方

3日目 企業の視点を知る

- ・自分について整理する（履歴書・職務経歴書）

4日目 面接について

- ・模擬面接

参加要件

- ・都内の障害者就労支援機関等に利用登録している知的障害者、精神障害者、発達障害者の方
- ・支援者の方とペア参加

参加者の声

就活に対する準備をしようと思って受けたが丁寧で理解がしやすかった。手さぐりの状態でもあったので、テキストも心強く思う。（障害者）

ご本人が自身と向き合い、改めて考えるよい機会になりました。また支援者側も新たな一面を考え、知れたので今後の活動に活かしたいです。特に面接練習はよい刺激になりました。面接の対応について意見をもらえる機会は少ないので大変有難かったです。（支援者）

お問い合わせ

■（公財）東京しごと財団

障害者就業支援課 企画普及係

詳細はHPをご覧ください。 <https://www.shigotozaidan.or.jp/shkn/>

TEL：03-5211-2681

ステップ2 ▶ 就職活動（体験する・スキルアップする）

●障害者職場体験実習のご案内

障害のある方に、企業現場で実際の業務を体験する機会を提供することにより、企業と障害者双方の理解を深め、企業にとっては受入れ準備性を、障害者にとっては職業準備性を高めるための有効なツールです。障害者の一般就業につなげます。

【障害者雇用をお考えの企業のみなさまへ】

～体験実習の受入れ企業を募集しています～

当財団では、障害のある方を実習生として受け入れていただける企業を募集しています。実際に障害者を職場で受け入れることにより、企業は障害者が働く姿をみることができ、障害の特性や業務に関する適性、職務の遂行能力、コミュニケーションの方法などを知る機会となります。職場体験実習を受け入れていただける企業に対して、障害者雇用支援アドバイザーを無料で派遣いたします。

職場体験実習の流れ

①応募

②アドバイザーが訪問（実習期間や内容等詳細を調整）

《主なサポートと内容》

- ・障害者雇用に関する情報提供
- ・業務の分析としごとの切出し
- ・実習カリキュラム・スケジュール作成
- ・障害別の接し方や留意点のアドバイス
- ・実習環境の整備

③登録（財団HPにて企業の登録情報を就労支援機関等へ提供）

④実習前調整（就労支援機関等の要望に応じて実習生の受入れの可否を調整）

⑤実習実施（財団が実習に係る普通傷害・賠償責任保険の費用を負担）

（中小企業の場合は、実習に係る諸費用を補助する助成金を支給）

※なお、職場体験実習の受入れは、その後の雇用を義務付けるものではありません。

【職場体験実習先を探している障害者就労支援機関のみなさまへ】

職場体験実習では、障害者本人にとって、企業等で働いた経験がない（少ない）、自分の適性が分からないなど、企業等で働くことに不安がある場合に、いきなり「就職」ではなく、仕事を「体験」することができます。この職場体験実習により、企業等の現場を知ることができ、また、実習中の体験を通じて、自身の新たな課題を発見することもできます。

当財団では、職場体験実習の拡充のため、障害者雇用支援アドバイザーが実習先を開拓しています。お気軽にご相談ください。



■相談内容

- ①職場体験実習受入れ企業の情報提供 ②希望企業のヒアリング ③職場体験実習先の紹介

◆利用した支援機関さまの声

- ・実習面談会は支援者も同行できるので魅力を感じております。
- ・利用者の希望や可能性を広げられる機会と受け止めております。

お問い合わせ

■（公財）東京しごと財団

障害者就業支援課 コーディネート事業係

TEL : 03-5211-2682

詳細はHPをご覧ください。 <https://www.shigotozaidan.or.jp/shkn/>

ステップ3 ▶ 就職活動 → 就職

ステップ4 就職後

●東京ジョブコーチ職場定着支援事業のご案内



貴社の障害者雇用を 「東京ジョブコーチ」がサポートします！



◇ 障害者の職場定着でお悩みの企業のみなさまへ ◇

受入れ、仕事の教え方、定着等で悩んでいる職場に
経験豊富な東京ジョブコーチがうかがい、一緒に問題解決を図ります。

支援の内容

- I. 支援対象者の業務内容の検討・組み立て
- II. 作業習得支援
- III. コミュニケーション支援
- IV. 通勤支援 等

※職場体験実習時の支援や特別支援学校卒業生の定着支援にもご利用できます。

例えば

- ①障害者の受入れに際し、受入れ体制や留意すべき点について支援します。
 - ②社会人、企業人として必要な基本的なルールやマナーについて、障害者に分かりやすくアドバイスします。
 - ③仕事の教え方、説明の仕方のポイントをアドバイスします。
 - ④どのようにしたら定着率が上がるか等、職場の悩みについてもお相談にのります。
 - ⑤一緒に働く従業員一人ひとりの障害者雇用に対する意識の向上について支援します。 等々
- その他についてもご相談ください！**

支援の流れ

1. 相談・申込み（先ずは東京ジョブコーチ支援センターにお電話ください。）
2. 訪問・打合せ（コーディネーターが就職先等を訪問し、打合せをします。）
3. 支援計画の作成（ご要望をお聴きし計画を作成します。）
4. 支援～支援終了（支援計画に基づき支援を実施します。概ね20回までとします。）
5. 定着確認（新たな課題が発生した場合には再支援も可）

利用者の声

- ①企業としては障害者雇用の受入れ体制が整った。本人としても適切にコミュニケーションが取れるようになり、働くことに自信が持てるようになってきた。
- ②集中的に支援していただいた利用者に大きな変化があった。いろいろなことに前向きに取り組むようになった。

お問い合わせ

■東京ジョブコーチのご利用について

東京ジョブコーチ支援センター

TEL : 03-3378-7057

詳細はHPをご覧ください。 <http://www.ikuseikai-kyo.or.jp/~iku-tokyo-jc/>

（発行）（公財）東京しごと財団 障害者就業支援課 企画普及係

〒102-0072 千代田区飯田橋3-10-3 東京しごとセンター 8階

電話：03-5211-2681 FAX：03-5211-5463

URL <https://www.shigotozaidan.or.jp/shkn/>



【個人情報の取扱いについて】

公益財団法人東京しごと財団では、「個人情報の保護に関する法律」（平成15年法律第57号）、「厚生労働省所管分野における個人情報保護に関するガイドライン」及び関係諸法令等の遵守徹底を図るとともに、個人情報を適切かつ安全に取り扱うため、個人情報保護基本方針を制定しています。個人情報の取扱いの詳細はホームページ又は窓口でご確認ください。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

260
古紙パルプ配合率60%再生紙を使用

